

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12 月 9 日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう網干

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1	0	運動室とブレイルームを分けて場所を確保している。
	②	職員の配置は適切である	7	0	0	利用児童の人数に応じて職員を配置している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	0	1	気が付いた時には清掃や整理整頓を行うようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	毎回参加できるようにしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	意見を共有し、声掛けを行っている。/毎年アンケートを配布し、意見を共有している。/会議を行い、職員で改善につなげられる工夫を毎年話し合っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	7	0	0	毎年ホームページで公開しており、いつでも見ることができる。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	月に1回は必ず行われている。/全体研修や会議に参加している。/職員研修、管理者研修、接遇研修など幅広く行われている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	7	0	0	カンファレンスで目標や学校、家庭での様子などを共有して意見を出し合っている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	0	0	月1回会議を行い、全員で話し合っている。/目標や問題の改善に対し、活動の意見交換を行っている。/毎月カンファレンスを行い、職員で話し合っている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	過去の計画も参考にしながら予定を立てている。/職員会議で翌月の活動内容をみんなで話し合ってお互いに決めていく。/1人で決めるのではなく、職員みんなで案を出し合ってお互いに決めていく。/子どもたちの希望を聞くなどして楽しめる計画を立てている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1	0	企画書など作成して目標を明確にしている。/その日の利用者によっても細やかに設定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	1	0	学習の時間には、各々で宿題に取り組んだり作業学習に取り組む時間を設け、集団活動では運動などを取り入れている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	自分だけではなく他の職員の役割も把握している。/朝礼時などで情報共有や引継ぎを行ったりしながら確認している。/日々朝礼を行い、朝礼ノートも活用して確認している。/朝礼にて必ず行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	子どもの細かい言動も見逃さず記録するようにしている。/児童退所後、支援記録を作成し、保管している。/必ずその日のうちに記録をしている。/支援目標に沿った記録内容になるようにしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	半年に1回程度でモニタリングを行い目標の見直しを行っている。/全職員で細やかな成長に気づき、話し合えるようにしている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	0	季節の行事など、色々な活動を組み合わせて行っている。	

関係機関、保護者様との連携	17	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	学校ごとに行事予定表を頂いたり、利用予定表を提出して頂く際に行事内容を聞いたりしている。/利用者が通う学校名、電話番号を一覧にしてすぐに対応できるようにしている。/お迎え時に様子について話を伺うことができている。
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	1	1	相生児童発達からあがってくる児童の様子を聞いたり、計画書をもったりしている。
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	6	0	1	支援計画書、報告書を提出している。
	20	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	0	研修などが開催された際には可能な限り参加していきたい。
	21	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	モニタリングや利用の送迎時などに専門塾の様子や学校、家庭での様子を伝え合っている。
保護者様への説明責任等	22	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	重要事項説明書に沿って説明し、質問がないか確認している。
	23	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	7	0	0	悩み等を聞いた時は他職員へも伝え改善策を考えたりしている。/話を聞いて事業所内で共有し相談にのれるような体制をとっている。
	24	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	7	0	0	毎年開催して、連携している。/今年はモスバーガーの副店長さんをゲストに招き、行った。
	25	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	内容を即共有し、改善できるよう就業前に声掛けをしている。/苦情が上がってきた時は内容を全体に周知し、改善につなげている。/管理者に報告し、素早い対応ができるよう心掛けている。
	26	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1	0	行事予定表を配布している。/読みやすく、楽しい内容になるよう工夫している。
	27	個人情報保護に十分注意している	6	1	0	送迎時に、十分留意した上で伝えるよう心がける。/子どもの目や耳に届かないよう配慮している。
	28	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	児童たちはノンバーバルコミュニケーションなど用いたり、学校での様子や情報は連絡帳を確認している。
	29	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に関わられた事業運営を行っている	4	3	0	福祉フェスティバルに参加したりしている。/上記の通り、モスバーガーの副店長さんに来て頂いたり、地域の福祉フェスティバルに参加。
	非常時などの対応	30	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	0	0
31		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	避難場所や避難経路の確認も併せて行っている。/毎年行っている。/消防法に基づき、年に2回必ず実施している。また、1週間「防災週間」を作り、全利用者が防災に関われる機会を作っている。
32		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	定期的に研修が行われている。/虐待防止のアンケートの回答や職員会議で不適切支援がなかったか確認している。
33		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2	0	現在ご利用されている方の中で対象者はいないが、今後対応が必要になった際には、説明や書類への記載についてきちんと行っていくように知識としては覚えておくようにする。
34		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	0	0	服薬が必要な場合は行っている。/二人以上の体制で確認をしている。手順について、職員会議で周知、確認を行った。/複数の職員でダブルチェックできる体制を取っている。
35		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	同じことを繰り返さないように気を付けている。/ヒヤリハットの出来事を報告したり、共有された報告を読んで気を付けている。/話し合い、文書等で共有できている。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
業務や支援、保護者との連携はできていると思う。事業所の環境整備など衛生面に気を配っていききたいと思います。						